



# 上水道だより

2015 特別号

平成27年1月発行

佐賀市上下水道局

佐賀市若宮三丁目6番60号  
TEL(0952)33-1330・FAX33-1315

## 佐賀市が バイオマス産業都市に 選定されました!!



### 市長コメント

今回の選定につきましては、これまで本市の取り組みにご協力いただいた市民やNPOなどの団体、また本市との連携に積極的に取り組んでいただいた企業、多方面でご指導をいただいた関係省庁の方々など、多くの皆さまのご指導・ご協力の賜物と感謝しております。

バイオマス産業都市へ選定された重責を認識するとともに、これを新たなスタートとして産業とエネルギーの創出を図る「バイオマス産業都市さが」の一日も早い実現を目指してプロジェクトを推進してまいります。

↑ You Tube にて動画をご覧いただけます

平成26年11月18日

バイオマス産業都市認定証授与式

あべ俊子農林水産副大臣と秀島市長

関係7府省（内閣府、総務省、文部科学省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省）が共同で推進している「バイオマス産業都市」とは、経済性が確保された一貫システムを構築し、地域のバイオマスを活用した産業の創出と地域循環型エネルギーの強化により、地域の特色を活かしたバイオマス産業を軸とした環境にやさしいまちづくりを目指す地域のことです。

# バイオマス産業都市さが ～下水浄化センターの取り組み～



## 「昔に帰る未来型」環境都市“事業化プロジェクト”

- 1 清掃工場二酸化炭素分離回収事業
- 2 木質バイオマス利活用事業
- 3 下水浄化センターエネルギー創出事業

- 4 微細藻類培養によるマテリアル利用及び燃料製造事業
- 5 家畜排せつ物と事業系食品残さとの混合堆肥化事業
- 6 事業系食品残さと有機性汚泥の混合利用事業



## 普通の生活が地域の力になる『昔に帰る未来型』の環境都市

日本に未曾有の被害をもたらした東日本大震災では、予想をはるかに超える天災があることを教えられました。住み慣れた地域で普通に生活できることの大切さをこれほど思い知らされたことはありません。また、原子力発電所の停止に伴う電力不足が深刻な問題となり、自立分散型の電力として、再生可能エネルギーへの期待がさらに高まっています。このような社会情勢を踏まえ、国では地域のバイオマスを活用した産業創出と地域循環型の再生可能エネルギーの強化を図り、環境にやさしく災害に強いまちづくりを目指すバイオマス産業都市の構築を推進しています。

佐賀市では、清掃工場（ごみ処理）と下水浄化センター（水処理）で集まった廃棄物を処理する過程から、発電やその他様々な資源・バイオマスエネルギーを創り出す取り組みを進めています。この取り組みをさらに進化させ、産業とエネルギーの創出を図る「バイオマス産業都市さが」の構築を目指しています。

佐賀市は、「普通の生活が地域の力になる」を基本に、暮らしから出るごみや排水を資源としてうまく活用し、地域産業の活性化と新産業の創出につなげます。子どもや孫、後世に伝えられる循環型社会。壮大でありながら暮らしに密着した「無駄のない」まちづくりで「バイオマス産業都市さが」を目指したいと考えています。

## 下水浄化センターのこれまで

下水浄化センターは、清掃工場と同じ様に、市民に喜ばれ歓迎される施設となるよう取り組みを進めてきました。これまで、下水処理した放流水を流す際、有明海にひろがる海苔養殖場に良い影響を与えるような季別運転を続けてきました。その結果、2014年には海苔の生産量が11年連続日本一になりました。また汚泥は肥料化し、肥料の良さや使い方を伝えるため（農業者や家庭菜園者向けに）農業勉強会を定期開催しています。今では下水道肥料の利用者が増え、地域循環No.1と言えるほどになりました。

### 目指すもの

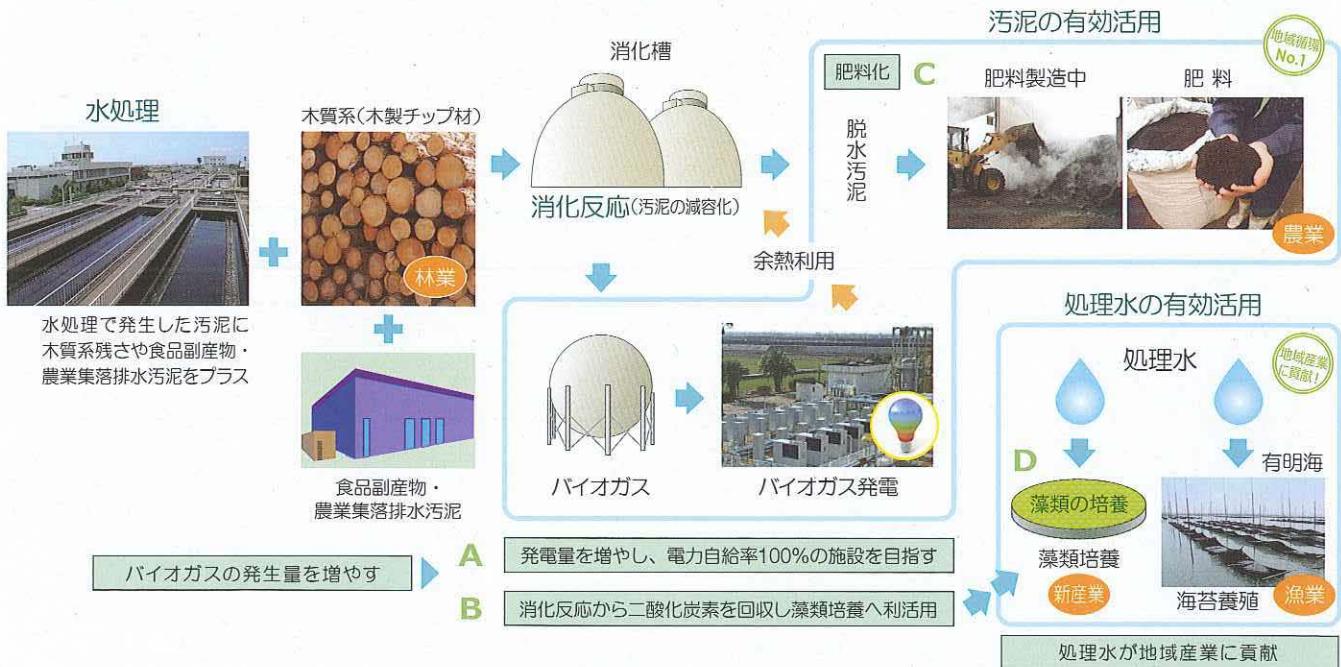
**A 「バイオマス産業都市さが」の事業化プロジェクトのひとつである、下水浄化センターエネルギー創出事業では、**

汚泥から生じる消化ガスによるバイオガス発電は平成23年から開始し、当センター内の電力自給率は42%。さらに食品工場の副産物や木質等のバイオマスを取り入れ

～消化反応促進（電力自給率100%を目指して）～

## 下水浄化センターエネルギー創出プロジェクト

排水を集約 | 水処理 | 汚泥の消化反応から発電 | 肥料化 | 利用先に考慮した処理水の有効活用



この様々な取り組みをさらに進化させ、下水浄化センターでは、「昔に帰る未来型」の環境にやさしいまちづくりの一端を担いながら「水資源・エネルギーの集約・自立・供給拠点化」を目指します。

このような様々な取り組みをさらに進化させ、下水浄化センターでは、「昔に帰る未来型」の環境にやさしいまちづくりの一端を担いながら「水資源・エネルギーの集約・自立・供給拠点化」を目指します。

て発電を増やし、日本初の電力自給率100%を目指しています。佐賀市清掃工場につづいて、新たに消化反応から二酸化炭素を回収し資源として利活用する取り組みを進めます。

**C** 残った汚泥の利活用である肥料化の取り組みでは、さらなる良質化と安心・安全・低コスト農業への貢献を目指します。

**D** 民間企業との共同研究により、下水処理施設から生じるバイオマス資源を藻類の培養に効果的かつ効率的に活用する研究を進め、藻類培養にかかるコストの削減に寄与することを目指します。また、将来的には藻類の事業化で最も難しいもののひとつと言われているバイオ燃料の実用化などにも貢献できるものにしたいと考えています。

市民に喜ばれる歓迎施設へ。最先端の取り組みで、さらなるエネルギー資源を創出します！

# 水道管の凍結にご注意ください!



水道管の凍結が見られるのは、次のような場所です。

- ① 水道管がむき出しになつていているところ
- ② 水道管が北側（日陰）にあるところ
- ③ 風当たりの強いところにある水道管

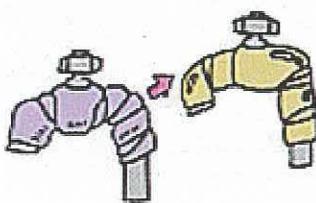
冬季は、水道管の防寒対策をお願いします。

気温がマイナス4度以下になると、水道管の水が凍つたり、水道管が破裂したりする場合があります。

**マイナス4度以下 の日はご注意を**

市販されている保温材を巻きます。蛇口が破裂しやすいので、蛇口まで完全に包んでください。

**水道管の凍結を防ぐには**



手近なものとして、布や毛布を利用する方法もあります。

なお、これらが濡れないうちに、上からビニールなどを巻いてください。



**水道が凍つて出ないときは**



熱湯をかけると、破裂やひび割れすることがありますのでご注意ください。



蛇口を開けてタオルをかぶせ、その上からゆっくりとぬるま湯をかけて溶かします。

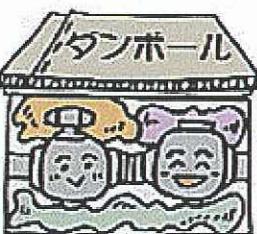
メーターボックス内に使い古しの布や毛布をいれ、上にダンボールなどをのせて保温してください。

**メーターボックスの中も防寒を**

た場合は、道路から漏水した水が凍結して、歩行者や自転車が転倒する事故が発生する場合があります。

道路漏水を発見された場合は、水道工務課（諸富町・川副町・東与賀町は佐賀東部水道企業団、久保田町は西佐賀水道企業団）までご連絡ください。

**道路漏水を発見された場合は**



問い合わせはこちらへ

項目	担当課	電話番号
転入転出や名義変更の手続きに関すること	業務課	☎33-1313
水道料金や下水道使用料、給排水設備に関すること	業務課	☎33-1313
浄水のしくみ・水質に関すること	浄水課	☎33-1334
水道管の漏水や水道工事に関すること	水道工務課	☎33-1332
下水道工事に関すること	下水道工務課 南部整備係	☎34-1333
市営浄化槽に関すること	下水道工務課 净化槽係	☎34-5047
予算、契約に関すること	財務課	☎33-1331
その他の問い合わせ	総務課	☎33-1330
☆諸富町・川副町・東与賀町の水道に関すること全般	佐賀東部水道企業団営業課	☎30-6212
☆久保田町の水道に関すること全般	西佐賀水道企業団	☎68-2225

**編集・発行**  
佐賀市上下水道局 総務課

〒849-8558

佐賀市若宮三丁目6番60号

TEL (0952) 33-1330

FAX (0952) 33-1315

**■ホームページ**

<http://www.water.saga.saga.jp>

**リサイクル適性**

この冊子は印刷用の紙へリサイクルできます。

この冊子は1部あたり約4.0円で作成しています。（ただし人件費などの間接費は含まれていません。）